

「前橋市下水道ビジョン」策定におけるパブリックコメント (意見募集)の結果について

意見募集期間：平成28年6月2日(木)から7月1日(金)まで

意見提出者数： 4名

意見提出件数： 7件

反映した意見： 1件

取りまとめの都合上、いただいたご意見を要約し、水道局の考え方を説明いたします。

今回いただいたご意見を参考に下水道ビジョンを策定させていただきます。

大変貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。

パブリックコメントによる意見等	左の意見等に対する水道局の考え方
①前橋水質浄化センター等の改築・更新に伴い、下水道使用料はどうなっていくのでしょうか。	①下水道使用料は、「受益者負担の原則」により必要な整備(事業量)に合わせて見直しが必要になります。 今後の前橋水質浄化センターを含む改築更新事業を計画的・効率的に進めることで、下水道を使用している方々に過度の負担とならないよう、適正な使用料水準について財政計画を策定し検討していきます。
② 下水道の建設・維持管理には相当の職員数が必要かと思いますが、民間の活力などどのように考えているのでしょうか。	②本市では、すでに料金収納業務や処理場・ポンプ場の運営管理業務等を民間委託しています。 民間活力の導入については、今まで行政が担ってきた公共サービスを官と民とが協力しながら、より効率的で質の高いサービスを提供していくために、必要なことと認識しています。 今後、前橋水質浄化センターの再構築事業を控え、整備方針・整備手法の検討と共に民間活力の導入の可能性についても検討を進めていきます。

パブリックコメントによる意見等	左の意見等に対する水道局の考え方
<p>③一市民として危惧することは施設や設備の老朽化に対する対応や、頻発している地震やゲリラ豪雨による自然災害への対策です。</p> <p>万が一に備えた万全な体制をつくる必要があります。</p> <p>そのためにも技術の継承ができる人事や予算措置、官民との連携強化を図ることが絶対不可欠と考えます。少子高齢化等により人口が減少しても市民の生活環境を変えるわけには行きません。</p> <p>是非「下水道ビジョン」が「絵に描いた餅」にならないよう、短期間で進捗状況等の検証を行い、その結果を市民に発表（閲覧）する方法をとってください。</p>	<p>③本市では、万が一に備えて平成27年に「前橋市下水道業務継続計画（下水道BCP）」を策定しています。非常時においても業務を継続して行えるよう担当職員の研修と訓練の実施を継続的に進めていきます。</p> <p>また、この下水道ビジョンが「絵に描いた餅」にならないために、PDCAサイクルによる進行管理によって5年毎の見直しを実施し、その結果を公表していきたいと考えています。</p>
<p>④6 ページに「今後は標準的耐用年数50年を超える管路が増加することが見込まれる」とありますが管更生達成への具体的な試算はたっているのでしょうか。</p> <p>また、23 ページの求められる検討課題に「標準的耐用年数50年を超える管路施設における調査・診断」とありますが、いつ管更生が成し遂げられるのか、不安に感じます。</p>	<p>④本市では、「長寿命化計画」を策定し、老朽化した下水道施設の改築・更新を計画的に行なっています。</p> <p>ご意見にある管更生は、期限をもって達成されるものではなく、下水道事業を継続する限り続いていくものと考えています。</p> <p>今後も、下水道事業を継続するために、予防保全の考えに立ち改築・更新を確実に実施していきます。</p>
<p>⑤用語解説にある語句は、途中から読む人もいるので、※印が全てにあっても良いのでは。</p>	<p>⑤ご意見を踏まえ、途中から読む方への対応として、用語解説にある語句へ※印をつけ、より分かりやすいように修正をいたしました。</p>

パブリックコメントによる意見等	左の意見等に対する水道局の考え方
<p>⑥職員数について</p> <p>H23年の64名から五年後のH27年には57名へと激減している表には、少なからずショックを受けました。技術関係の人材は一朝一夕に育成できません。若い人材の確保とベテラン職員の活躍をお願いいたします。</p>	<p>⑥人材育成と技術の継承については、将来にわたり下水道事業を維持していくために大変重要であると認識しています。喫緊の課題と捉え、技術継承を考慮した人事管理制度の構築や研修体制の充実に取り組んでいきます。</p>
<p>⑦赤城大洞処理場について</p> <p>計画流入量に対し、汚水の流入量が少なすぎ適正な処理ができないとありますが、赤城山は前橋観光の目玉であり、赤城山の賑わいが前橋の活性化と考えます。</p> <p>現在、そこに向かっていきますので、処理場の縮小等は考えずに、少しの間待ってください。</p>	<p>⑦赤城大洞処理場については、整備後30年を迎えようとしています。今後、必要とされる改築更新事業に向けて、赤城山観光を所管する関係課とも調整を行い、適正な汚水処理のあり方について検討を進めていきます。</p>